

事例4:働きやすい職場環境作り

発表テーマ:人材育成／業務の効率化／離職防止・定着支援／職員生き生き支援

事業所名:feel 小久保

担当者:児童発達支援管理責任者 杉下 味香、心理専門職員 伊原 舞

施設・事業所紹介

ことば、かず、手先、身辺自立、コミュニケーション、制作、運動、おやつ、聞く力、見る力などを個別療育&小集団療育を通して支援している児童発達支援の事業所です。公認心理師、臨床心理士、教員免許、保育士などの資格を持ったスタッフが勤務しています。保護者の方へのカウンセリングなどや、幼稚園、保育園などに訪問して、お子さまへの支援や園の先生への相談活動を行うことができます。

【取組内容について】

1 取組を行ったきっかけ

働きやすく学びやすい風土作りを目的として、コミュニケーションを円滑にとることができる関係性作りを行うことが、事業所全体としてのパフォーマンス向上につながると考えました。

(会社側)離職を防ぎ、人材の確保につなげている。

(職員側)知識・経験の充実、キャリアの継続につながる。

2 具体的な取組内容

- ① MTG:スタッフ全員が同じ方向性を向いて支援を行うことができるように、利用しているお子さまの情報共有を毎日の MTG で行っています。話しあったことを議事録に残し、いつでも確認できるようにしています。また法人としては、4事業所の所長会議、管理職会議を実施し、法人としても同じ方向を向いて職場環境作りなどができるようにしています。
- ② メンター:困ったことを相談しやすい環境作りの一つとして、メンター・メンティー制度を取り入れています。常勤スタッフがメンターとなり、新人スタッフが困った時だけでなく、日常的に会話をする機会をもつようにして、関係性作りを行っています。
- ③ チームビルディング研修:簡単なゲームや制作などを通してスタッフ全体がお互いを知り、チームワークを高めることを目的として、チームビルディング研修を2カ月に1度行っています。
- ④ 内部研修:事例検討会(訪問支援、療育プログラムなど)や発達検査(K式、KABC-II、WISC-IVなど)の研修など、年に5~6回以上の内部研修を行い、スタッフがスキルアップをできる環境を整えています。
- ⑤ 時短勤務(7時間勤務等):希望すれば時短勤務をすることができ、育児や介護等による勤務時間の調整を行うことで仕事と家庭のバランスを取りながら、仕事を継続できる環境を整えています。

3 成果と評価

- ① MTG:毎日 MTG が実施されることで、対応に困った時にいつでも相談をすることができ、またその情報を職員同士が把握してご利用のお子さまに関わることができました。
- ② メンター: MTG で聞くまでではないが気になることなどをメンターにいつでも聞くことのできる環境があるので、心配や不安が大きくなる前に解消することができることにつながりました。
- ③ チームビルディング研修:普段の業務を通してだけではなかなか知ることのできない部分を知ることができ、また話すことが苦手な職員にとっては、自分自身を知ってもらう機会となり、職員同士の距離を縮めることができました。
- ④ 内部研修:心理士、保育士など他職種の専門知識を共有することで、職員全体のスキルを上げることができました。
- ⑤ 時短勤務:育児や介護のために離職という選択肢だけでなく、勤務時間を減らして勤務を続けることができるという選択肢があることで、離職防止につながりました。

4 今後の課題、他の施設・事業所へのアドバイスなど

2022 年度に初めてチームビルディング研修を行いました。その時々で研修内容などを考えて実施していましたが、来年度は新入職員が増える事業所もあるため、職員のコミュニケーション度合なども推し量りながら、内容を決めて取り組み、コミュニケーション活性の一助にしていきたいと考えています。

【参考資料など】

■チームビルディング研修の様子



■内部研修の内容例

楽しさは子どもの発達が動く原動力

大人が思いっきり楽しんでいると子どもも一緒に楽しめる『楽しそう』『やってみたい』の気持ちにつながる。

子どものあこがれる存在(すごい、かっこいい)になると子ついてくる。

ただ遊んでだけでなく遊びにねらいを考え 発展 させていく。遊びの中でも療育に繋げる。



事例5: 保育所等訪問支援がお子さんや保護者のためにできること

発表テーマ: 利用者ニーズ／利用者家族ニーズ

事業所名: feel 小久保

担当者: 心理専門職員 西井 香純

施設・事業所紹介

お子さまが集団生活を営む施設(幼稚園・保育所・学校)へ訪問して、お子さまへの支援や訪問先施設のスタッフへの支援方法の提案や連携等を行います。

【取組内容について】

1 取組を行ったきっかけ

保育所や学校で取り組んでいる支援、学習の内容、その目当て等について、家庭と話したり説明したりする機会が少なかったがために、保護者の方が心配されている事例が複数あるように思いました。

今一度『保育所等訪問支援の効果的な実施を図るための手引書』等を振り返って訪問支援のあり方を学習し直したり、事業所内のミーティングや事例研修会等を通して議論したりする中で、改めて保育所等訪問支援の難しさや魅力、ニーズの高さを感じました。

2 具体的な取組内容

- 担任の先生が工夫されていること(例: 楽しく学習するための教材づくり、予定が分かりやすい時間割表の作成、子どもたちが主体的に学びやすい環境づくりや宿題の設定)を保護者の方に積極的に伝えました。
- 保護者が疑問に思っていた点や、目当てを知りたいと思っていた点(例: 学習の範囲や宿題の決め方)について、訪問支援員が担任の先生にねらいや目当てを確認し、それらを保護者の方に伝えることで、保育所や学校と、保護者の方との間で、より信頼関係を構築できるよう支援しました。

3 成果と評価

- 現段階の目標やお子さんに適した支援方法・学習方法等を共有したことで、お子さんへの対応が統一され、無理なく効率的に学習を進めることができ、お子さんが自分でできることや理解できることが増えました。
- 保護者の願いや思いを担任の先生に伝えたり、先生の思いや学習の目当てを保護者に伝えたりすることで、お子さんにとっての強みや現在の課題、今取り組むべき目標や支援の方法、学校・家庭・療育でのそれぞれの役割分担などを共有し合って、お子さんの発達や学習を支援することができました。
- 家庭と保育所・学校との関係が良好になることで、お子さんがより先生を信頼し、園生活や学校生活を笑顔で楽しめることが増えました。

4 今後の課題、他の施設・事業所へのアドバイスなど

保育所等訪問支援は、お子さんの発達支援や保護者の方への相談支援等に関する知識はもちろんのこと、保育所や学校等の現場に関する知識も必要になったり、「保護者と学校」をはじめとする人と人とをつなぐ力が求められたりと、より専門的な知識やスキルが必要で、難しいと感じることも多々あります。

しかし、日々お子さんのために努力されている保育所や学校等の先生方からたくさんのことを直接教えていただくことができる上に、お子さんにとってより楽しく、充実した園生活や学校生活を送れるようになるために少しでも貢献できる、やりがいのある事業だと感じています。

【参考資料など】

厚生労働省 HP 掲載「保育所等訪問支援の効果的な実施を図るための手引書(2017)」

事例6:代替サービス用の動画が園のイメージアップや療育材料にお役立ち♪

発表テーマ:利用者ニーズ/利用者家族ニーズ/イメージアップ

事業所名:明石市立あおぞら園・きらきら(指定管理:社会福祉法人三田谷治療教育院)

担当者:服部 記昌

施設・事業所紹介

平成 21 年より明石市から社会福祉法人三田谷治療教育院が指定管理を受け、運営している児童発達支援センターです。"「好きな遊び」を「好きな場所」で「好きな大人」とともに " をモットーに就学前の発達に支援の必要なお子様やその家族に対してサポートさせていただいております。



【取組内容について】

1 取組を行ったきっかけ

コロナ禍において、在宅で過ごすことを余儀なくされたお子様や家族の代替サービスとして運動や制作、歌などの療育用の動画を作成しました。

2 具体的な取組内容

テレビや Youtube などでクオリティの高い保育用の動画はたくさんありますが、あおぞら園・きらきらに通うお子様に慣れ親しんだ保育士が代替サービス用の動画に出演し、作成することでお子様はもちろんのこと、保護者の方においても「つながり」を感じて、孤立感を感じないように配信しつづけました。

2022 年 4 月 21 日 代替サービス用の動画を Youtube に配信開始。2023 年 3 月 1 日時点で約 140 本以上の療育用の動画を HP 上にて配信しています。



3 成果と評価

代替サービス用に動画を作成し配信しましたが、特別支援学校の先生からは教材としてご活用いただいているとのことや、大学の先生からはコロナ禍において実習ができない生徒の代替案として動画を活用しているとお話を伺いました。またあおぞら園・きらきらに就職を希望する方からは動画を見て、「楽しい雰囲気で、ここで仕事したいと思いました」と就職希望動機にもなっています。



4 今後の課題、他の施設・事業所へのアドバイスなど

顔出しが苦手なスタッフもいますので配慮が必要です。

しかし、保護者の方から好評いただくことで動画作成の意欲にもつながり、スタッフから人形劇などの動画も作りたいなどのアイデアもあり、顔出しでなくても主体的に作成に関わることになりました。

今後は職員の入れ替わりもある中で、お子様に応じた療育動画を更新していきたいと思っています。

